

令和5年度 第2回公設宮代福祉医療センター運営懇話会会議録

開催日時	令和5年10月30日（月）午後1時30分～午後2時30分	
開催場所	公設宮代福祉医療センター 3階会議室	
出席者	委員	木村会長、今岡副会長、上條委員、大高委員、重田委員、小暮委員、関根委員
	事務局	石井センター長、秋山事務次長 井上健康介護課長、竹花保健センター所長、山内主幹
傍聴者	なし	
配布資料	次第、運営懇話会資料	
会議録作成者	山内	

1. 開会（進行：竹花所長）
2. 公設宮代福祉医療センター長あいさつ
3. 運営懇話会会長あいさつ
4. 議事（進行：木村会長）

1) 令和5年4月～令和5年9月公設宮代福祉医療センター利用状況について  
（事務局より説明P1からP2）

－質疑応答－

委員 小児科の患者さんが増えた理由は何ですか？

事務局 風邪症状の患者さんが増えたためです。また、全国的な傾向として小児の患者さんが増えています。

委員 小児の増加が初診の増加につながっているのですか。何か改善したのですか？

事務局 それもありますが、午後の発熱外来を設定したこともあると思われます。

委員 訪問看護は準備中と聞いているが進捗は？

事務局 訪問看護は、体制を整えている状況ですが、医療職は全般的に不足しており採用が難しい。

委員 訪問リハビリはどうか？

事務局 長くご利用いただいていた方が入院したり、入所したりで少なくなっている。

2) 令和5年4月～令和5年9月公設宮代福祉医療センター損益計算書について

(事務局より説明 P 3 から P 4)

— 質疑応答 —

委員 水道光熱費は、LED の効果があつてよかつたと思っています。減少した要因は、LED と節電によるものか。また国の補助はついたのか？

事務局 水道高熱費は、すでに事業所は国により 1 k w 当たり 3 3 円 × 総使用量がマイナスされた状態で記載されている。また、電気料については 7 月から契約内容が変わり、基本使用料が上がつたが、燃料調達費が東京電力の想定より安くなり結果的にマイナスとなつた。

委員 人件費がマイナスとなっているが、なぜか。

事務局 介護福祉士や看護師が退職している。職員確保のため、HP で募集しているがなかなかみつからない。

3) 令和 5 年 4 月～令和 5 年 9 月公設宮代福祉医療センターの取組について  
(事務局より説明 P 5)

— 質疑応答 — なし

4) 運営に関する意見・要望等について  
(事務局より説明 P 6)

— 質疑応答 —

委員 診療時間について、短いという意見を住民からいただいたので要望しておく。

事務局 水曜日は、30 分診療を延長しているが、実際はあまり来ていない。診療時間延長は、働き方改革に影響するので悩ましいところである。

事務局 現状、この医師の数では労基署の制限もかかつており診療時間を延ばすことは、現時点では難しい。こうなってくると六花単独ではなく、医師を増やすという前提で町が動けるか結論を出さなければならない。もちろん早晩にというわけにはいかない。町内の医師の高齢化に伴い、町の関与を考えていかなければならない時期に来ている。

委員 町の医療について話し合う場はあるのか。

事務局 町医師会というものはある。すべての医師が入っているわけでもないが、その中で話をすることはできる。しかし、診療科目も異なるため踏み込んでいけない。

委員 介護施設の水道光熱費や食費などを補助するとかはできないか。

事務局 介護保険の制度の話だが、介護を社会でまかなう形となっている。補助にすると介護保険の破綻を意味する。そのため、保険料を応能負担にするアプローチしかない。今までも不測の事態には支援を行ってきた。

委 員 介護施設では経費が嵩み倒産しているようだが、赤字の要因はなにか。

事務局 全国の老健の3割は赤字である。赤字の理由は様々だが、水道光熱費、食費の高騰や人件費の増加が主な要因といわれている。

委 員 そうなってくると介護予防に力を入れていくしかない。

事務局 地域医療振興協会としても予防に力を入れており、取り組む価値はあると考えている。

委 員 六花のデイケアは安心してリハビリができると評判がいい。

事務局 ありがとうございます。

#### 5) その他

事務局 意見をまとめ、管理運営協議会にかけていきたい。

### 5. 閉 会